

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第16回会議録 (要点筆記)

1. 開催日時 令和元年8月30日(金)午後2時00分～午後3時30分
2. 開催場所 生駒市役所 4階 大会議室
3. 参加者 池上氏(座長) 井上氏(副座長) 浅井氏 石丸氏 上武氏 高枝氏
田中氏 中世古氏 中田氏 中村氏 山本氏 (五十音順)
(事務局) 林農林課長 巽農林課課長補佐 桑田農林係員
4. 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし
5. 議題 (1) 生駒市農業ビジョン策定について (パブリックコメント実施報告)
(2) その他

6. 審議内容

(1) 生駒市農業ビジョン策定について (パブリックコメント実施報告)

事務局 (資料1及び2に基づき説明)

[概要]

農業ビジョン案について、議会やパブリックコメントの意見を反映した修正内容を資料に基づき説明。

座長 事務局から説明のあった修正内容を反映した生駒市農業ビジョンをもって策定となるが、何か意見や質問等はないか。ビジョンに記載しているとおり、「食と農の未来会議」を開催するなど、策定後も市民や飲食店等の意見を聞き、具体的施策に反映させ、成長させていくビジョンとなっているが、現段階で盛り込んで置くべきことは意見をいただきたい。

事務局 本ビジョンの表紙デザインは現在進めているところであり、冊子としての完成版はデザイン面でも楽しいものとしたいが、分量が多く、広く一般の市民に気軽に手にとっていただくために概要版の作成を進めることとしたい。概要版にはポンチ絵を用いて、具体的施策の実施により達成される生駒の農業の未来像が視覚的にわかりやすくなるよう表現したい。

本日説明させていただいた農業ビジョンについて、市長決裁が下りれば策定となり、9月議会で報告する。12月頃には冊子の印刷が完了する予定で、完成次第、懇話会参加者の皆様に送付する。

懇話会は今回で一区切りとなるが、早速今年度中には飲食店とのワークショップを実施したいと考えているので、その際には懇話会を開催し、皆様のご意見を頂戴したい。

(2) その他

参加者 市内各地でイノシシ被害が発生しているが、被害対策としてどのような方法があるか。

参加者 イノシシの生息数を減少させることは非常に難しいため、まず、被害防止対策に取り組むことが必要である。作物の残渣を畑に放置しない、畑の周りの草刈りを徹底し、山と畑の間に緩衝地帯を設け、イノシシが隠れられるスペースを作らない、防除柵を設置することなどにより、被害は大きく減る。

参加者 ただ、市からの補助があったとしても、個々に柵を設置するには負担が大きく、非効率的なため、集落単位での取組が求められる。まずは、一つの地区でモデルケースとなるような集落単位での取組を実施すれば、他の集落にも広がっていくのではないか。

事務局 ビジョンに記載している有害獣対策の地域勉強会開催について、早速今年度各農家区に案内を送付し、開催を希望する農家区を募集している。勉強会をきっかけとして、地域で有害獣対策に取り組む必要性があるという意識を醸成し、集落単位での有害獣対策実施につなげていきたい。

参加者 他県の事例であるが、保育園に野菜を卸している農業者が、保護者が子どもの迎えに来る時間帯に野菜を販売し、保護者も普段子どもたちが安心して食べているものなのでたくさん買っていかれるという話を聞いた。農作物は市場経済のみ

で価値が決まる「商品」としてのみでなく、生産者と消費者の関係性により価値が決まる「半商品」としての取引が可能であり、様々な場での販売機会を創出することにより、市民に農業を知ってもらうことができる。農業者と市民につながりができ、市民が農業の現状を知れば、例えば有害獣対策に市民が関わっていかうとするきっかけになるかもしれない。

ビジョンの実施にあたっては、各施策が縦割りになってしまうと効果が限定的なものになってしまうので、横断的、有機的な取り組みにより、課題に広く対応して行ってほしい。